

都市環境安全局

局mission	25年後も持続可能な災害に強い安心安全で美しく、資源となる「ヒト」「モノ」「カネ」「データ」を生かした魅力ある都市を形成する。
局vision	◇豊かな自然資本が保全・活用されるとともに、犯罪や災害等に強く都市インフラが整備された安心安全で持続可能な都市をめざす。
局value	【安心・安全・快適の追求】 安心、安全、快適を追求し、自然資本を利活用しながら、環境と社会と経済がバランスよく最適化された強靱な都市をめざす。
局運営方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・犯罪や災害等に強い安心・安全に暮らせる都市を目指し危機管理体制・対策を強化する。</li> <li>・長寿命化計画に基づき道路・橋梁・公園・公営住宅などの都市インフラ施設を適正に維持管理する。</li> <li>・自然資本の活用と循環する農林業を推進する。</li> <li>・脱炭素及び地域循環共生社会の実現に向けて自然環境の維持保全及び再生可能エネルギーの活用を通じた循環型社会を創出する。</li> <li>・リサイクルの推進や適正なごみ処理などを通じた安全で快適な生活環境を創出する。</li> <li>・災害に強い上下水道システムの構築を図る。</li> <li>・持続可能で安定した上下水道事業の経営をめざして取り組む。</li> </ul>

都市サステナ部	
部value	【次世代につなぐまちづくり】 次世代につなぐ安全で活力あるまちづくりを目指して
部運営方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市インフラ施設の適正な維持、管理に努め、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組む。</li> <li>・道路・橋梁・公園等について、長寿命化計画に基づき持続可能な維持管理に努める。</li> <li>・公営住宅について、適正な管理に努め、利用者が安心して暮らせるよう取り組む。</li> </ul>
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路面性状調査の結果に基づき7.3kmの舗装補修工事を行った。</li> <li>・橋梁点検を26橋行い、状況把握を行った。</li> <li>・長寿命化計画に基づき遊具の更新を行った。</li> <li>・公営住宅について、ガス給湯付風呂修繕(計画的修繕30件、緊急修繕7件)、施設修繕21件を行うなど、適正な管理を行った。</li> </ul>

上下水道部	
部value	【安全な水供給と快適な生活環境の提供】 市民の大切なライフラインである上下水道をいつまでも使い続けられる都市をめざす。
部運営方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健全で効率的な事業を持続できる上下水道事業経営に取り組む。</li> <li>・上水道については、老朽施設の更新や耐震化事業を進めるとともに広域化の検討を進める。</li> <li>・下水道については、未普及地域の解消や下水道管路の長寿命化を進めるとともに官民連携により、維持管理体制の充実を図る。</li> </ul>
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道料金、下水道使用料の改定について、市民に改定内容やその必要性を周知し、10月に改定を実施し上下水道事業の経営強化を図った。企業団との事業統合検討のために企業団及び既統合団体から情報収集を行い、広域化の検討を進めた。</li> <li>・上水道について、主に重要給水施設配水管路の耐震化を行った。中央監視設備や日野浄水場薬品注入設備については機器設計や機器製作などを行い、老朽施設の更新を進めた。また、西之山配水場更新工事については着手した。</li> <li>・下水道について、未普及地域での下水道の供用開始による普及向上や既設管路・施設の改築更新による長寿命化を進めた。また、令和8年4月からのW-PPP(レベル3、5)の実施を目指し、優先交渉事業者選定に向け取り組み、2月19日に契約を締結し、維持管理の更なる充実を図った。併せて国へのPRや報道機関への周知を行い幅広く広報を実施した。</li> </ul>

地域資源循環部	
部value	【地域環境の保全と地域資源の利活用促進】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・快適な生活環境や循環型社会の創出に向け、地域環境の維持保全を図るとともに、脱炭素への取り組みを推進する。</li> <li>・安全安心な農林産品供給のための農地・森林の維持保全や営農・山林経営への支援、新たな付加価値の創出に取り組む。</li> </ul>
部運営方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2050年ゼロカーボンを目指し、再生可能エネルギーの利用推進等により市域の温室効果ガス排出量の削減に取り組むことにより、地球温暖化対策の推進を図る。</li> <li>・大阪府と連携しながら人と動物の共生する社会の醸成を図る。</li> <li>・ごみの3R推進による循環型社会の構築を図る。</li> <li>・安全で快適な生活環境の維持に向けた一般廃棄物の収集及び資源化並びに適正処理の推進に取り組む。</li> <li>・少子高齢化社会など将来を見据えたごみ施策を推進する。</li> <li>・出荷農家の育成と担い手の確保を進めるとともに、利用権設定の促進により農地の保全及び有効利用を図る。</li> <li>・農福連携をはじめとした森林・農地などの自然資本の価値向上を促進する施策の企画・立案を行う。</li> <li>・第2期かわちながの森林プランに基づき、人工林における森林整備やおおさか河内材の利用の促進を図るとともに、市民や企業による森林の利用を推進する。</li> </ul>
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助事業により、再エネ・省エネ設備の設置支援を進め、実績として約270kwの太陽光発電設備を導入し、市域の温室効果ガス排出削減に寄与した。</li> <li>・大阪府と連携して、犬の飼い方の啓発や飼い主のいない猫を減らす活動の支援など、人と動物の共生する社会の醸成を図った。</li> <li>・各種イベントの実施、新規サービスの周知等により、3Rの推進を行った。</li> <li>・一般廃棄物の収集運搬及び処分を円滑かつ適正に行うとともに、ごみの減量化・資源化の推進に努めた。</li> <li>・少子高齢化の進展を見据え、ふれあい収集、カラス除けネット等の購入補助、公設ごみステーション運営などの施策を実施した。</li> <li>・営農支援等の実施による出荷農家の育成と担い手の確保、利用権設定の促進による農地の保全と有効利用を進めるとともに、農業施設の整備支援による営農環境の向上を図った。</li> <li>・森林を活用したJ-クレジットの創出、販売の枠組みを確立するとともに、水質AAの水資源の活用や農福連携について、地域と連携した取組みを開始した。</li> <li>・林業経営体への補助事業や市直営での間伐業務により人工林の整備を行うとともに、住宅や商業施設等新築2件、改築4件でおおさか河内材の活用を支援した。</li> </ul>

危機管理課(局直轄課)	
該当する局運営方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・犯罪や災害等に強い安心・安全に暮らせる都市を目指し危機管理体制・対策を強化する。</li> </ul>
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練の検討と発信力の強化としては、実践的な防災訓練計画の策定に向け意見交換を行うとともに、SNS用わかりやすいバナーの作成はシティプロモーション課へ依頼した。</li> <li>・防災対策の推進としては、マンホールトイレの1箇所の整備、消防団車両2台の更新完了、消火栓の11基の設置を行った。</li> <li>・犯罪発生率府内最小の継続としては、警察や防犯協議会と連携し各種取り組んだものの、特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺の増加傾向に歯止めが掛からず、取組項目の達成には至らなかった。</li> </ul>